

映像祭アンケート

アンケート No	属性（所属・年代・性別）	コメント
4	1・20 未満・男性	映像の構成が素晴らしかったです。外部からゲストを招いて講義を行うことも新しい知識が得られるので作っていただきたいです。よろしくお願いします。
5	7・30 代・男性	地域社会（商店街）と個人（住民）のつながりの1つとして振興組合の流す「放送」があるというテーマはよかったと思います。放送の中身の方も切り口が見つけられると深みが増すと思いました。 質疑応答でも気づきましたが、この活動のキモである「インタビュー」についてなぜその人にインタビューしたのか、そのやり取りを映像に入れることで制作側が求める伝えたい意図は何か、そしてそれがしっかり伝わる形になっているか、常に考えることが必要だと思いました。勉強になりました。 ディレクターの長谷川君の趣旨説明がとてもよかったです。
6	8・60 以上・男性	それぞれ力作だと思いましたが、やはり、問題の掘り下げが不足と感じました。人には、見たいものしか見えないということ。コメントで申し上げましたが、「ウソを吐く一番の方法は本当を言うことだ」ということを忘れないで下さい。大切なことを見落とし、間違った結論を出すのが一番恐ろしいことです。また、昔の最適解は今の最適解ではないこともよく覚えておいて下さい。
10	1・20 代・男性	身近なテーマながら、知らない話や興味深い話が多く全5作品を楽しく鑑賞させていただきました。撮影や編集の技術が高く、素晴らしいと思いました。途中で音量が大きくなったり、音質が悪くなる（割れる）ところがあったのでそこを改善するとより見やすくなると思いました。
11	1・20 代・男性	可視化するということがよくできていた。価値化という面では不十分なもの、強引な方向付けがあったように思いました。
18	1・20 代・女性	学生が自分たちで構成、撮影などすべてやっている作品というところがすごいと思いました。クオリティーが高かったこの作品が完成するまでたくさんの行動とたくさん話し合いがあったのだろうと思いました。マーマレードの映像が一番気に入った。
19	2・20 代・男性	作品はすべて見やすくいいと思った。でも本番に慣れていないのか、壇上にいながらメモを見ながら話したり、かみかみでちぐはぐだったのが残念でした
24	1・20 代・男性	二部の8mmは1960年代の映像で当時の日本国民の健やかに生活している様子が詳しく知ることができました。しかし、会場にBGMがなかったのでとても寂しい感じがしました。雰囲気あまりよくなかったです。また情報量が少なかったので、生活様式を読み取るのが難しかったです。
25	1・20 代・男性	映像編集の時点で音量バランスがおかしいことに気付いてないのですか？耳が痛くなるような突然の音量の上りなどかなり編集が低レベルだと思いました。多くの人に見せる作品である以上は上映前にそういう確認をするべきだと考えます。特に音量バラスがひどかったのはマーマレードのやつでした。
27	1・20 未満・男性	ドキュメンタリーの当事者の方々を連れてきていただき、それらの人たちから見た意見をうかがえたことの意義は大きい。8mm フィルムのナレーションはもっと原稿を下読みした方がいいと思う。それか事前に録音して映像に入れるか。せっかくその場でナレーションしているのもっといいタイミングでナレーションを入れることができたはず。

28	1・20代・女性	<p>プレゼミ生も「下高井戸・桜上水物語」はどれもレベルが高くておもしろかったです。商店街の街頭放送、開かずの踏切は今まで特に意識せずに過ごしていただけに物語の背景を知ることができて大変興味がわきました。マーマレード物語も面白かったです。来年もまた見に行きたいと思います。</p>
40	7・20代・男性	<p>街頭放送：普段は環境音として意識することは少ないことに着目した面白い内容でした。まさに映像祭でしかできないことだと思います。今まで何気なく聞き過ごしてるものをうまく「社会学」できたと思います。</p> <p>開かずの踏切：ほかの例（小田急、調布、八幡山など）に触れられていて、様々なことを研究したのではないかと思います。高架化派の方の意見も聞くことができるのとより一層深まるのではないかと思います。</p> <p>世田谷の農家：農業をされている様子が分かりました。この映像がきっかけとして宅地化されている中での農業について多くの人を知る機会ができるといいですね。</p> <p>8mm：昔の映像で当時の生活様式やレベルなどが民俗学的な思考や知識が必要なところで難しいと思いますが今後の研究に期待しています。</p> <p>マーマレード：新潟まで行っての取材お疲れ様でした。映像から新潟の地域の特徴やマーマレードが商品化されるまでが分かりました。</p>
41	7・20代・女性	<p>街頭放送：音を取り上げているとても面白い作品でした。多様な商店街の音の一つとしての街頭放送をうまく描けたと思います。ささやかですがとても印象に残る音です。作っている人と聞いている人の声が入っていてよかったです。</p> <p>開かずの踏切：モウさんが自らインタビューに挑むところが非常によかったです。心強いです。世田谷区の住民運動はとても活発ですがうまくいかないこともあります。住民には何かを伝えたい気持ちまたは戦いたい気持ちがあるのですか。住民だけの活動に限界があります。自分たちだけでしゃべるだけの活動には限界があります。大事なものは行政、メディア、世田谷区など仲間を探すことです。協働、共鳴が成功につながると思います。</p> <p>世田谷農家：とても優しい作品でした。楽しく見させていただきました。野菜作りのシーンも入っていて、作っている人の顔を見ることができましたが、その野菜を食べているシーンもほしかったですね。でもとてもよかったです。</p> <p>ゼミ生：8ミリもマーマレードも成果発表できてよかったです。どちらも面白くて本当にお疲れ様でした。</p> <p>卒業後にこの時を思い出したり、懐かしく思うことがあるでしょう（卒業生、ありな）</p>
43	2・20代・男性	<p>第2部の最初の映像資料が不十分に感じました。撮影の対象や撮り方、座り方、着ている服などもっと分析できる対象は多くあると思います。社会学科で学んでなくてもできる分析でした。また司会や学生たちの準備不足や練習不足が目立ち、せつかくの作品の価値を落としていると感じました。</p>
44	8・30代・男性	<p>街頭放送：普段何気なく聞いている街頭放送をピックアップしているのがよかった。</p> <p>高架化：反対側とほかの地域住民との温度差もあることが映されその葛藤が分かる映像がドキュメンタリーの醍醐味、面白さだと分かった。</p> <p>農業：農業する人が少なくなっている中で続けている佐藤さんの大事にしているところが分かった。地域の人たちとの交流など映っていたら地域の中であり続ける理由が分かったのかなと思います。</p>
53	1・20代・女性	<p>8mm フィルムの映像は当時の生活の様子を窺がえて面白かった。白黒テレビの映像や古い人形などから時代を感じた。こんな貴重な映像がどこにどのような保存されているのか気になった。</p> <p>世田谷と新潟県十日町市という離れた地がマーマレードでつながっているという事実には驚いた。自分もぜひマーマレードを購入して味わってみたいと思いま</p>

		した。
59	7・20代・男性	プレゼミ生の作品は農業のものゼミ生の作品はマーマレードのものが映像として見ごたえや問題意識が見受けられ、いい作品であったと感じた。他の作品は学生の視点から見える疑問であるとか、問題意識の存在もあまり強く感じられず、「やらされている」感が否めなかった。視点などはそれぞれ面白いものではあった。